りんご箱

ケアセンター成瀬住民の会だより　第１１５号

2017 年（平成 29 年）11 月　発行：住民の会広報委員会　電話：729-0617　発行責任者　塚本誠子

ケアセンター成瀬まつりを振り返って

実行委員長　星野和宏

11 月 5 日(日)

今年も「ケアセンター成瀬まつり」が秋晴れの中、催されました。

今回で 21 回目となる「ケアセンター成瀬まつり」ですが、天候にも恵まれ、目標の 50 万円を上回る純収益を達成しました。

ＮＰＯ「暖」には来場された方のお腹を満たすために、バリエーション豊かな料理を用意していただきました。駐車場ではバーベキューチキンの香ばしい匂いが漂い、無料ポップコーン、お菓子のつかみ取り、スーパーボールすくい、パターゴルフ、お絵かきコーナー等、次世代に繋ぐためケアセンター成瀬を子どもたちに知ってもらう試みを行ったところ、家族連れや多くの子どもたちが訪れ、創和会の職員が日頃の接客スキルを子ども相手に遺憾なく発揮してくれました。

また、ケアセンター成瀬に係わって頂いている業者の方々の協力で、ヨーヨー釣りや無料マッサージも人気を集め、南第三高齢者支援センターの相談コーナーでは来場された方々に安心キーホルダーの申し込みのお勧めを行いました。

入口では管理栄養士による栄養相談コーナーと、イソジンうがい薬の無料配布が行われました。休憩所ではソフトクリーム、ケーキ、コーヒーセットの販売もあり、手作りのアップルパイ、パウンドケーキが格安で提供されました。

地下のバザー会場は掘り出し物を探す人の熱気にあふれ、午後の時間帯には少しでも安く良い品を手に入れるため、売り子との値切り交渉が最後まで続きました。

外の中庭では焼き鳥、ビールの販売があり、秋の日差しを浴びながらビール片手に焼き鳥を食べて寛ぐ方も多く見られました。

中核となるバザー用品の出品に協力頂いた１００名を超す方々、当日足を運んで頂いた近隣の方々に本当に感謝いたします。

「ケアセンター成瀬まつり」という、ひとつのイベントを実施するにあたっては、事前の告知、受付、搬入、値付け、会場設営から後片付けと、長い時間をかけ、多くの方々の力を結集して開催することができました。

日頃からケアセンター成瀬に様々な形で係わって頂いている住民の会の方々をはじめ、この地域のパワーを感じたまつりでした。

バザー収益金

５５６，７８５円

音響セット購入・掲示板リニューアル等、創和会・住民の会・ＮＰＯアップルサービスで有効に活用させていただく予定です。

シニアカフェ

花みずき

おしゃべりや会合などに、どんどんお使い下さい❤

今年度、研修委員会では講演会を開催しようと話していました。

放射能汚染や終活、遺言についてなどいろいろな意見や希望がでました。

しかし、地域の状況などをみると高齢化が一層進んでおりテーマは終活がピッタリではないかという話になりました。

そして研修委員のメンバーや他の会員のお力添えで開催に漕ぎつけました。

９月24日、当日は創和会の協賛も得て58名の方が出席して下さいました。

講師は東京司法書士会三多摩支会の司法書士栗原庸介、小西文緒両先生です。

終活に向けて具体例等を出してのお話でしたので身近に感じられてとても参考になりました。

遺産分割、いわゆる遺産相続の相談の76％は５千万円以下のケースに起きているとのことでした。要するに資産家でなくても相談するケースが増えているということのようです。まさに他人事ではないと思いました。

参加してくださった方達もそのように思った方がいらしたのではないでしょうか？

講演会開催

「そろそろ準備を始めましょう」終活に向けて

研修委員長　遠藤仙子

日本では年間１２０万人の方が亡くなっていますがその中で8.3％の方が公正証書遺言を作成しているそうです。諸外国と比べるとまだまだ少ないとのことでした。

しかしエンディングノートや終活などの記事やニュースが多くなっており、日本も徐々に増えているのではないかと思いました。日本人も少しずつ自立に向けて歩んでいるように思います。

なにしろ自分でやらなければやってくれる人が少なくなっていますし家族の絆も細くなっているようにも見えます。

これを機に今のうちに自分自身の終活を考えてみようという気になりました。

司法書士さんへの相談は敷居が高いように思っていましたが、聞いてみるとそうでもなさそうです。

ぜひ皆さんも考えてみてはいかがでしょうか。

それともう準備万端ですか？

ボランティア研修会が開催されました

永尾　陽子

10月21日

今回は川尻施設長はじめ、特養「暖家」より大木主任とボランティア担当の岡安職員、デイサービスより星野主任とボランティア担当の笠原職員が出席。創和会はオールメンバーが顔を揃えました。

ボランティアは天気が悪かったせいか12名で、しかも運悪く、住民の会の行事委員会と重なり、途中４名が退席という事態でした。

〈ボランティアから〉

・タメ語で話されて吃驚した。「親しき中にも礼儀あり」職員の言葉づかいに注意して。

・趣味活動の出欠表は正確に。道具類を揃えて準備しても欠席と知ってガッカリする。

・くもん学習中の部屋では私語を慎み静かに。

・俳句の時間は歓声の上がるゲームなどは避けて。

・趣味活動開始は一時半と言われているが早くから始めたいご利用者との間で悩む。

〈デイ職員から〉

・食後の休養もあるので、開始の時間は守るようにお願いしたい。

・ご利用者の個人情報の秘密保持にはくれぐれも気を付けて。

〈特養職員から〉

・要介護度平均4.3の特養はデイとはペースが異なることを理解してほしい。朝食の下膳などもあまり急がないで。

・事故からボランティアを守るためにも身体介助は行わない。

その後、ボランティア活動とは直接関係はないが、一部の職員の服装が気になる。仕事モードに入るための制服のようなものも考えてみてはどうだろうかなどの意見が出ました。

川尻施設長からは、創和会３ケ年計画で、「サービス維持改善委員会」を発足の予定なのでボランティアの力も是非借りたいとの話がありました。

次回は３月開催の予定。

子供みこしがやってきた!!

7月30日(日)

今年もなるせだいまつりが行われ、子供みこしがケアセンター成瀬へやってくると聞き、子供達に配るお菓子の用意にも力が入ります。５０～60名ほどいらっしゃるということで、入居者様がお手伝いくださり数種類の駄菓子を袋詰めする作業にも熱が入りました。

中学生の職場体験ボランティアのかたにもご協力いただき、達成感からか満足な表情が並びました。

子供達がケアセンター成瀬に立ち寄ってくれるのを、皆さま心待ちにしておられるのが伝わってきます。

２０名の入居者様がいらっしゃいますが、毎年青いお祭りの法被に袖を通してほぼ全員で玄関へ出向いて迎え入れます。

元気な子供達を目の前に「可愛いね」「元気をもらえるね」など、口々に話しながら過ごされる入居者様は本当に嬉しそうで、まるで本当のお孫さん、ひ孫さんが顔を見せにきたのではないかと思うほどです。

これからも子供みこしが元気にケアセンター成瀬に遊びに来てくれるのを楽しみにしています。

（特養職員　岡安朋子）

この記事は８月発行の「りんご箱」１１４号に掲載する予定でしたが、当方の編集ミスで遅くなりました。
筆者の岡安さんをはじめ関係者の皆さまに深くお詫び申し上げます。

＊　＊　＊　＊

バス旅行
緊迫感漂う
軍港ヨコスカ

10月18日(水)

石川　誠・良枝

秋の長雨が連日続く中に奇跡の秋晴れが一日出現した十月中旬。住民の会の日帰り旅行は天からの贈り物のような快晴の中実施された。

「日頃の行いがいいからね～」等々皆笑顔で言いたい放題のバスは三浦半島へ。

今回は横須賀軍港めぐりのクルーズがハイライトだ。

まずは「くりはま花の国」へ。一面のコスモス畑を歩き秋の空気を一杯に吸込む。久里浜港では海鮮和食に舌鼓。仲間同士の心和む時間。

参加者は５０名

さていよいよ海上自衛隊と米国海軍の基地が置かれる横須賀港へ。昔なら軍事機密で眼前で観る事など無いイージス艦、潜水艦、護衛艦、掃海艦等が並ぶ。

巨大な海自護衛艦「いずも」ヘリ搭載が目に飛び込む中、クルーズは米海軍地区へ。

イージス艦数隻が停泊している。強力なレーダーシステムは六角形が目印。同時に百発もの攻撃に対処でき危険度の高いものから二十発に照準を合わせられる事に圧倒される。日本も同じイージス艦を所有するが当日居合わせたのは護衛艦の数々。勿論日本独自のレーダーを搭載。

潜水艦は最高二か月浮上せず食事は美味。金曜カレーは曜日感覚を取り戻す為にある。出航間際の砕氷艦「しらせ」も居た。

これら艦船の数々を目の当たりにし、有事であろうとなかろうと常に国民の命と財産を守る、ここがその最前線なのだと再認識し尊敬と感謝の念をもって眺めた。

ヴェルニー公園で心を鎮め、海の幸の買い物で満足。

時勢柄、安全保障を改めて意識し緊迫感漂う旅だった。

ダンケムジーク 第６１回コンサート

ダンケムジークの会も創立２０周年。延べ７千人以上のお客様をお迎えし、お陰様で創和会への寄付金も３００万円に達しました。

今回６１回はメンバー総出演の還暦祝い。『あの時君は若かった～』と昔を振り返るのではなく、『未来へ次世代へ繋ぐ』をコンセプトに、タイトルを『昔の子どもから今の子供たちへ』としました。

でも話し合う私たちは昔の子供ばかり。笛吹童子に月光仮面、鉄腕アトムに鉄人２８号。白馬童子って誰？エイトマンって宴会芸？などなど世代によって盛り上がる話題も違い、何とも喧しい楽しい話し合いでしたが、すこ～し若いメンバーに助けられつつまとまっていきました。お琴の「わらべうた」、月光仮面や宇宙戦艦ヤマトは昔の少年たちに。桃太郎などの物語歌は会場合唱。合間にａｕのコマーシャルの三太郎シリーズから１曲。ひょっこりひょうたん島あり、アンパンマンあり、エプロン姿のサザエさんも登場して会場合唱。すごくオシャレなジャズ風鉄腕アトムのピアノ演奏も。ディズニー作品やジブリ作品は必然なれど、演奏の難しいアナ雪やルパン３世はラ・ミューズにお願いし、あとは久々にムジーク合唱団を結成して練習を重ねました。

ファミリーをターゲットにということで最初と最後はサウンドオブミュージックをビオラ演奏とギター、合唱で固め、フィナーレはラ・ミューズにも加わって頂き華やかでした。

残念ながら、お客様に今の子供たちはあまりいなかったけれど（少しはいた！）何と言ってもオープニングベルに特養のおばあちゃまお二人にも参加いただき、トーンチャイムでサポートしたのが、最近親世代をみとったムジークメンバー。ほっこり暖かいベルとなりました。

（西　真知子）

10月８日（日）開催

次回（62回）コンサート　♪

2018年３月４日（日）　午後２時～

山口友由実さん（ピアノ）

夏井美香さん（ソプラノ）

すてきな演奏をお楽しみください！

これからの催し物

・ボランティア親睦会
　12月３日（日）　12:00～14:30
　ケアセンター成瀬地下デイサービスフロア
・新春交流会　１月14日（日）13:00～
　ケアセンター成瀬地下デイサービスフロア
・きらく会　11月24日（金）
　12:00～15:00
　ケアセンター成瀬 １階 会議室
・資源回収（毎月第４月曜日）
　１１/２７、１２/２５、１/２２

ケアセンター成瀬住民の会事務局

住所　町田市成瀬台3-24-1
電話・FAX　042-729-0617
ホームページ：http://ccnjk.com
受付時間　月曜日～土曜日
　10:00～16:30（日曜・祝日休み）
※「ゆりの木会館」側からお入り下さい

編集後記

稲垣えみ子さんの『魂の退社』という本を読んだ。大手新聞社の論説委員だった稲垣さんは50歳でキッパリと会社を辞め無職となった。クビになったわけではなく自分の意志で「脱会社」という第二の人生のスタートを切ったのだ。

組織に属さなくなった途端、アパート探しに大苦戦したという。会社という後ろ盾を見て人を判断する日本社会の構造がよく見えてきたという。漸く見つけた小さなアパートには冷蔵庫もなければ風呂場もない。

しかしながら、お金や物の呪縛から逃れた彼女の毎日は時間の自由と創造の喜びに満ち傍目にも楽しさ満載だ。最近ではカセットコンロ一つで作る簡単美味料理のレシピ本まで出版した。

経済活動が縮小したら政府は喜ばないだろうが、我々シニア世代の生き方にもヒントを与えてくれる良書だと思った。（S・K）